

初期研修医（ジュニアレジデント）

1	診療科名	消化器内科/内視鏡
2	診療科紹介	消化器内科は、消化管（食道、胃、小腸、大腸）、肝臓、胆道、膵臓など、非常に幅広い領域を対象とし、消化管出血や胆管炎、慢性肝炎などの一般的な疾患から、炎症性腸疾患、悪性疾患、比較的稀な指定難病まで幅広く対応しています。消化器の領域は、医師として診療に携わる以上必ず身につけておかなければならない分野です。初期研修時には、病棟での実習が中心となりますが、超音波検査や内視鏡研修により基本的な技術を習得することが可能です。
3	臨床研修指導医	矢野智則 他
4	研修概要（特徴）	大学病院内科系初期研修プログラムに準じて、ローテーション研修を行います。
5	研修内容（方略）	大学病院内科系初期研修プログラムに準じたローテーション研修。
6	到達目標	<p>(1) 一般目標（GIO） 消化器疾患全般にわたる基本的な病態生理の理解と診断，治療法の習得。</p> <p>(2) 個別目標（SBO） 腹部超音波検査の基本的技術の習得。 上部消化管内視鏡検査の基本的技術の習得。</p>
7	週間スケジュール	
7-1	月曜日（午前）	病棟／検査
7-2	月曜日（午後）	病棟／検査
7-3	火曜日（午前）	病棟／検査
7-4	火曜日（午後）	病棟／科内カンファレンス
7-5	水曜日（午前）	病棟／検査
7-6	水曜日（午後）	病棟／検査
7-7	木曜日（午前）	病棟／検査
7-8	木曜日（午後）	病棟／検査
7-9	金曜日（午前）	病棟／検査
7-10	金曜日（午後）	病棟／検査
8	経験できる症例	胃癌，大腸癌，肝臓癌，膵臓癌，胆道癌，小腸腫瘍，炎症性腸疾患，胃・十二指腸潰瘍，消化管出血，腸閉塞，消化管ポリポージス，胆石・総胆管結石，肝炎，胆管炎，膵炎など
9	指導医からのメッセージ	がん診療以外にも救急患者への対応にも力を入れています。また、内視鏡検査や腹部超音波検査など他科を専攻したあとも日常診療で役に立つスキルを身につけることが可能です。消化器内科の研修を経験した2年目の初期研修医限定で、内視鏡検査習得に特化した研修プログラムもあります。ぜひ一緒に頑張りましょう。